

長 ごく簡単に言うと、これまでのように順応するのではなくて客観的な高い視点、つまり母親のような視点で接することが必要になると思います。ただ、そこで問題になってくるのが接する相手が大人なのか子どもなのかという見極めです。

全部が全部というわけではありませんが、たとえば韓国は子ども、それもやんちゃで、なんでもいやがったり、見え透いたウソをついたりする幼児期の男の子という感じですし、それに対して大人の男性という感じがするのがヨーロッパで、青年期のいきがる若者という感じがするのがアメリカです。もっと小さい1歳児くらいの子どもがアフリカで、欲しいものは何でも力づくで取ろうとします。

章子 YAP 遺伝子を持っていないということは男性性が優位ということなんですね。

長 そういうことです。決めつけてはいけませんが、そういう人が多いというのは間違いだと思います。

そして、インドと中国はカオス状態です。中国人とインド人はお互いを一番嫌っていて犬猿の仲なのですが、大人なので経済ではしっかり手を握っています。

みると「お前が儂のことをそう呼びたいのならそう呼ばばいいだろう。この者たちは儂のことを由緒書きの通り呼びたいのだから、そう呼ばせておけばいいだろう。それで何か問題があるのか？」と言われてしまいました。

つまり、神様が自ら名乗ることはありませんし、どう呼ばれるかなんて気にもしていないということのようです。

章子 神様は何と呼ばれてもかまわないのですね。

長 そうですね。ちなみに一般的に知られている神様の名前というのは、古代王家の方の名前であることが多いんです。また、世界各国の神話に残されている神も、名前は違っても同じ神を指していることがあります。例えばポセイドンとササノオだったり、波動的にはハーデスとツキヨミなんかがリンクしているように感じます。

ポセイドンやハーデスなどは、ギリシア王朝の皇族の中に存在した名前ですが、オリンポス12神の中ではアフロディーテだけが古代オリエントや小アジアの神様になりますので、扱いが別になると思います。